

2025 年 9 月 6 日「夏の研究会用」暫定公開版

Partner8 の関係入力練習会の持ち物と事前準備のお願い

【当日の持ち物】

・パソコンと AC アダプタ

入力しやすいキーボードのパソコンをお勧めします。タブレットなどは、外付けのキーボードが必要です。

「IPtalk Partner」は多量のチェックやボタンがあります。マウスを持参することをお勧めします。

★会場で USB メモリーから最新の IPtalk をコピーできる事が必要です。

・イヤホン、または、ヘッドホン（Softalk の合成音声を聞くため）

・テーブルタップ(電源タップ)

・LAN を使った連携入力練習をしたい場合は、HUB と LAN ケーブル

【事前準備】

このマニュアルに従って、以下をお願いします。

① 当日に持参するパソコンに Softalk を事前にインストールしてイヤホンなどで合成音声を聞くことができることを確認してください。

②「練習リモコン」を使って、入力速度を計測して、結果をメールで送ってください。

練習問題の入力速度の参考にします。

③使用する IPtalk は、IPtalk9t70 ベータ版です。

練習会では、最新の IPtalk と Partner を USB メモリーで配布しています。

事前準備は以下の URL から IPtalk9t70_250906_Partner8 をダウンロードしてください。

http://www.s-kurita.net/download/outline_IPtalk9t70_250906_Partner8.html

【お願い】

・万が一、Softalk が練習文を読み上げない場合は、事前にメールしてください。

練習会当日に音声再生できないと分かっていても、不具合対応の時間は取れません。

必ず動作確認して来てください。

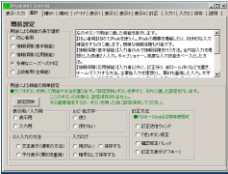
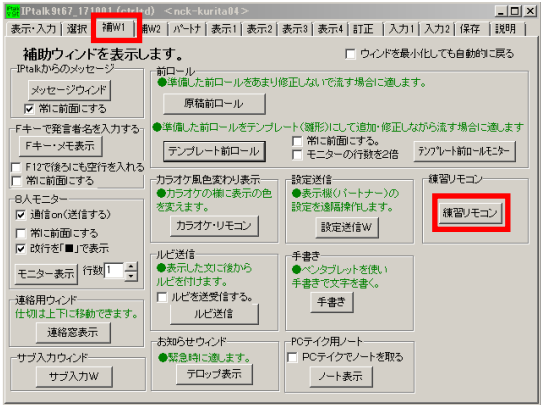
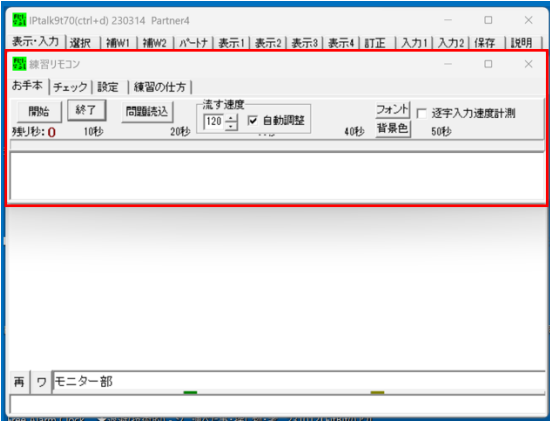
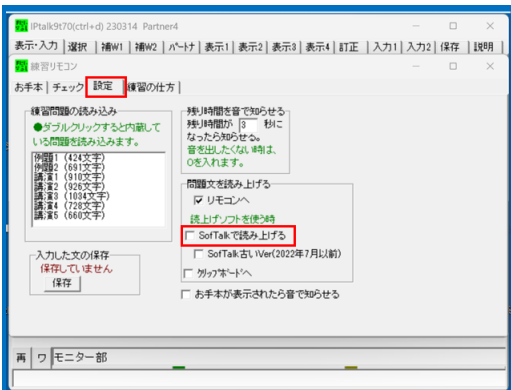

よろしくお願いします。

1)「SofTalk」を使う準備

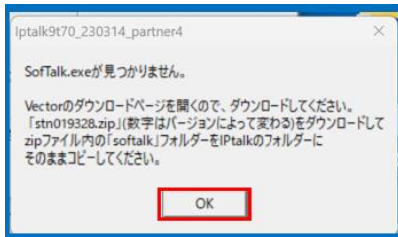
Sotalk は、ファイルをコピーするだけで使えます。

【注意】

・Windows7 では、「Microsoft .NET Framework4.0」を入れる必要がある場合があります。

No	操作	反応
1	<p>① IPtalk を起動します。 (起動時設定を読み込んで起動した場合は、「保存」ページの「初期値に戻す」ボタンを押してください。)</p> <p>②「選択」ページの「用途による機能の表示選択」で「上級者用」のラジオボタンを入れます。</p> <p>③「IPtalk からのメッセージ」ウィンドウは、「表示する」チェックを外して「×」で閉じておきます。</p>	<p>②ページが増えます。</p> 
2	<p>①「補 W1」ページの「練習リモンコン」ボタンを押します。</p> 	<p>①「練習リモンコン」が開きます。</p> 
3	<p>①「練習リモンコン」の「設定」ページを開きます。 「問題文を読み上げる」枠の「SofTalk で読み上げる」チェックを入れます。</p> 	<p>①初めてチェックを入れた時は、SofTalk が無いので、以下のようなメッセージが表示されます。</p> 

② 「OK」ボタンを押します。



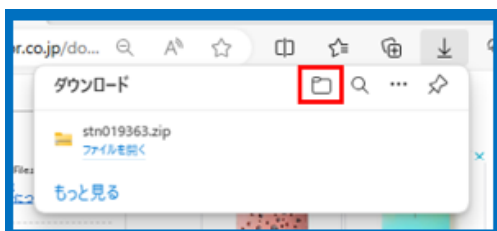
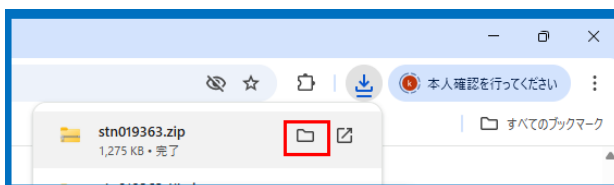
ダウンロードは「**stn019328.zip**」です。

③ 「stn19363」をクリックしてダウンロードします。

【注意】「stn19363」の位置は新バージョンが出ると移動するので、バージョン番号を良く確認してクリックしてください。



④ 「ダウンロード」ウィンドウの「フォルダーアイコンをクリックします。



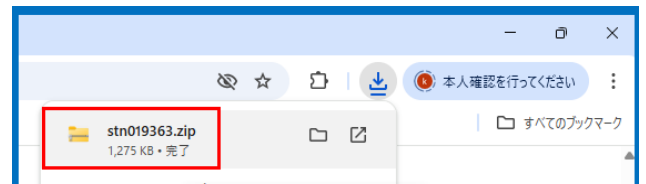
② ブラウザーが起動して、「SofTalk」の作者の HP の「旧バージョン」のページが開きます。

(「旧バージョン」のページが開く理由は後述します。)

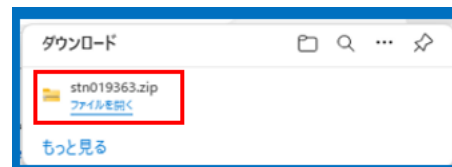


③ ダウンロードが完了します。

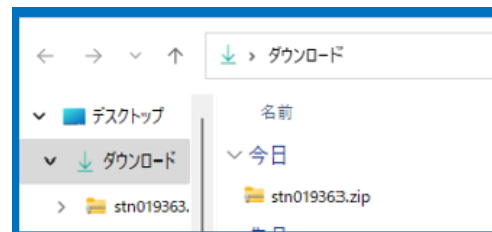
・ Google Chrome



・ FireFox



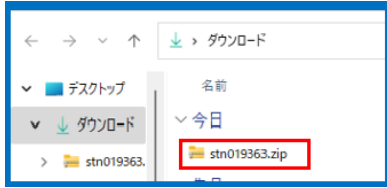
④ エクスプローラで「ダウンロード」フォルダーが開きます。



「stn019363.zip」がダウンロードしたファイルです。
数字はバージョンによって変わります。

4 SofTalk を IPtalk のフォルダーにコピーします。

- ① ダウンロードフォルダーの「stn019363.zip」のフォルダーをダブルクリックして開きます。
(数字はバージョンによって変わります。)



- ②「sofTalk」のフォルダーをコピーして、IPtalk のフォルダーに貼り付けます。

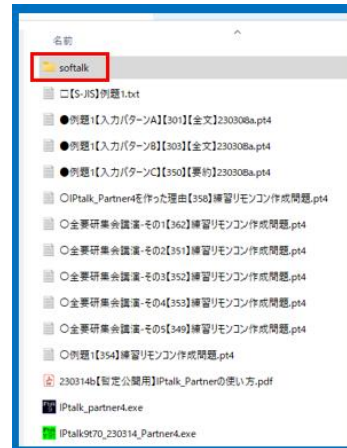
【注意】

コピーするのは、zip ファイルでなく、その中にはいっている「sofTalk」フォルダーであることに注意してください。

- ① 中に「sofTalk」というフォルダーが入っています。

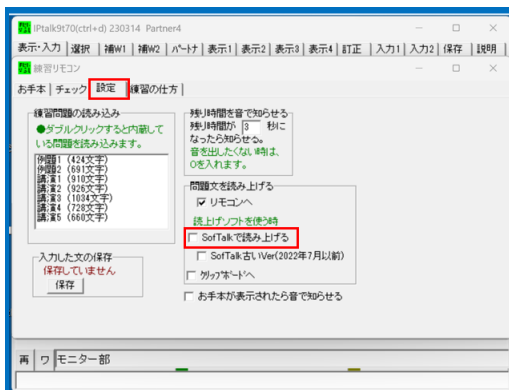


- ②IPtalk のフォルダーの中に「sofTalk」のフォルダーができます。



これでダウンロードは完了です。

- 5 ① もう一度、「練習リモコン」の「設定」ページの「問題文を読み上げる」枠の「SofTalk で読み上げる」チェックを入れます。



- ① Softalk が起動した時の警告が出ます。



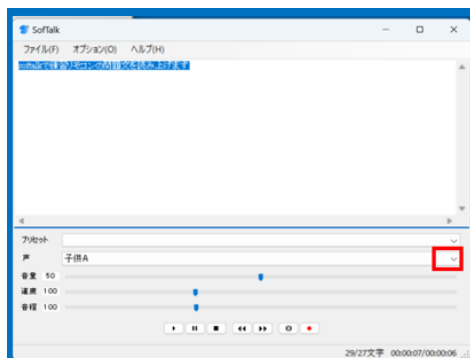
② 「詳細設定」を押します。



③ 「実行」ボタンを押します。



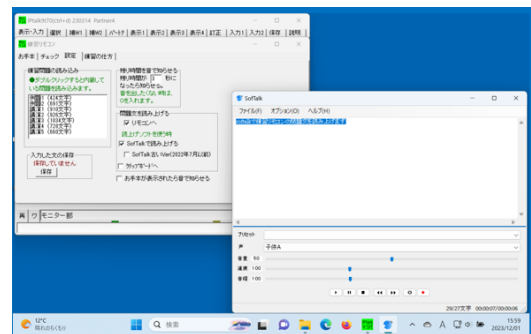
④ Softalk の運動の「声」のプルダウンで「Microsoft Haruka Desktop Japanese」を選択します。



② 「実行」ボタンが現れます。



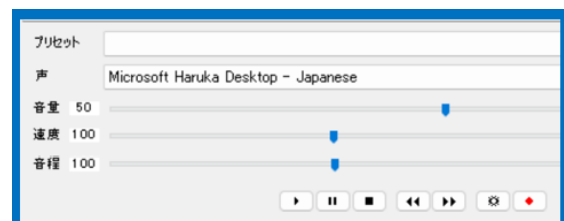
③ Softalk のウィンドウがデスクトップの右下に開いて、電子音ばい音声で「softalk で練習リモコンの問題文を読み上げます」と発話します。



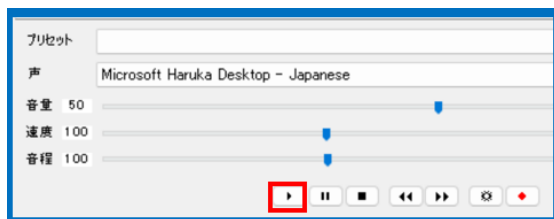
【注意】

複数のディスプレイを接続している場合、デスクトップに Softalk のウィンドウが現れない場合があります。この時は、タスクバーの Softalk のアイコンを右クリックして「ウィンドウを閉じる」を選択して Softalk を停止してから、外付けのディスプレイを全て外してから、もう一度「Softalk で読み上げるボタンを入れて下さい。」デスクトップに Softalk のウィンドウが一度現れれば、次からは外付けのディスプレイを接続していても大丈夫です。

④ 特に反応はありません。



⑤ 「▶」ボタンを押してテキストを読み上げて見ます。



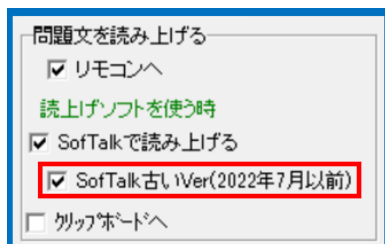
【注意①】

旧型の Softalk(2021年5月30日リリースの ver1.93.55より前のバージョン)を使用する場合は「声」は「女性01」を選択してください。

その場合は、以下の2つの設定をしてください。

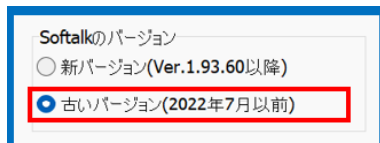
①「練習リモコン」ウィンドウの「設定」ページの「問題文を読み上げる」枠の「Softalk 古い ver(2022年7月以前)」チェックを入れてください。

チェックは設定保存されます。



②「IPtalk_Partner4」ウィンドウの「設定」ページの「Softalk のバージョン」枠の「古いバージョン(2022年7月以前)」ラジオボタンを入れてください。

ラジオボタンは設定保存されます。



この辺りの経緯は以下の URL を参照してください。

<https://w.atwiki.jp/softalk/pages/49.html>

⑤ 女性の声で「softalk で練習リモコンの問題文を読み上げます」とテキストを読み上げます。

これで Softalk の準備は完了です。

【注意②】


Softalk の運動の「声」のプルダウンで「Microsoft Haruka Desktop Japanese」を選択しても読み上げしない場合。

2025年7月27日の練習会で、2台のPCで、Softalkが読み上げしない現象が出ました。

(CPUがAMD Ryzen7のPCでした。原因は不明です。)

【対策】

「声」を「Microsoft Ayumi -Japanese」に変更してみてください。

<p>【注意③】SofTalk のウイルス誤検知について</p> <p>2025 年に最新版 SofTalk ver2.01.06 をダウンロードした時や zip から取り出す時にウイルスを検知したと出ました。</p> <p>これはフリーソフトでは時々あることで、ノートンや WindowsDefender の定義ファイルの更新遅れによる誤検知と思われます。</p> <p>IPtalk も過去に何度か誤検知される事がありノートンなどにメールしたりした事があります。</p> <p>・以下 URL の SofTalk の作者の「コメント>コメントログ」のその辺りの事が書かれています。ページが長いので「誤検知」で検索すると良いと思います。</p> <p>https://w.atwiki.jp/softalk/pages/29.html</p> <p>●とは言うものの以下のようなメッセージが出ると気持ちの良いものではありません。</p>  <p>そこで、最新版ではなくて、2025 年現在でウイルスと誤検知されない古いバージョンをダウンロードする説明書としています。</p> <p>【注意④】Softalk の合成音声の 2 次利用については、以下 URL を参照してください。</p> <p>https://w.atwiki.jp/softalk/pages/16.html#id_e59a2258</p> <p>IPtalk_Partner で使用する「Microsoft Haruka Desktop-Japanese」は、マイクロソフトが開発した音声認識・音声合成 API の「SAPI・Speech Platform」です。</p> <p>ネットを検索した限りでは「MS はダメとは言っていない。」という意見が多いですが、欄外の URL のような情報もあります。</p>	<p>【ヒント】SofTalk のバージョンアップとウイルス誤検知はイタチごっこだと思います。ウイルス誤検知がなければ最新版が望ましいと思うので、バージョンの概要を以下にメモします。詳細は作者の HP のリリースノートを参照してください。</p> <p><u>2022.08.14 リリース ver1.93.63(stn19363.zip 1.24MB)</u></p> <p>★2018 年の Patner 講習会から現在まで練習会などで使用しているバージョン。</p> <p>★IPtalk_Partner では、Windows11 に内蔵されている音源の「Microsoft Haruka Desktop-Japanese」を使用しています。</p> <p><u>2024.05.19 リリース ver2.00.00(stn020000.zip 87.2MB)</u></p> <p>・SofTalk オリジナル音声合成エンジンを搭載</p> <p>・UTAU 音源に対応しているので、ネットで公開されている音源を追加することが可能</p> <p>★このバージョンからサイズが大きくなりました。</p> <p><u>2024.06.23 リリース ver2.01.00(stn020100.zip 290MB)</u></p> <p>64bit 版。32bit 環境では同梱の SofTalk32.exe が必要。64bit 版では、32bit の音声合成を SofTalk32.exe を介して呼び出しているため、タイムラグが発生する。</p> <p>★「Microsoft Haruka Desktop-Japanese」は SofTalk32.exe が必要。</p> <p>..この間のバージョンについては省略..</p> <p><u>2025.01.01 リリース</u></p> <p>ver2.01.05(stn020105.zip ブロックされて MB 数不明)</p> <p>UTAU 音源として忍音ニコ単独音・波音リツ Eve(Eb4)・波音リツ強連続音(A3)を同梱。</p> <p>★2025 年 6 月現在、ウイルス(誤)検知しました。</p> <p><u>2025.05.06 リリース(説明書を書いている時の最新)</u></p> <p>SofTalk ver2.01.06(stn020106.zip 338MB)</p> <p>UTAU 音源(CVVC)のプレフィックスに対応..など。</p> <p>★2025 年 6 月現在、ウイルス(誤)検知しました。</p> <p>★zip から取り出す時に Softalk32.exe が引っかかった</p>
<p>おわり</p>	

★Microsoft Haruka Desktop の 2 次利用について

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/answers/questions/4314785/microsoft-haruka-desktop?forum=windows-ai&referrer=answers>

2) 練習リモコンの「逐次入力速度計測」と「Softalk」を使って入力速度を計測する

練習リモコンを使い、「Softalk」で問題文を読み上げて、入力速度を計測します。

問題文は規定値(デフォルト)で入っている「例題 1」にします。

練習をスタートすると問題文の 1 行目が「お手本」に表示され、Softalk が読み上げます。

「お手本」に表示される文と「入力部」の文が完全に一致すると、自動的に次の行を表示・読み上げします。

つまり、句読点も含めて、完全なコピータイプをしないと次の行に進まない事に注意してください。

「入力部」から「表示部」に流すには、通常通りに Enter が必要で自動的に表示には流れません。

問題が全部終わると、文字/分の入力速度が表示されます。

純粋なキー入力の速度を知りたいので、「F キーメモ」や、単語登録は使わず、例えば「パソコン要約筆記」は、「ばそこんようやくひっき」と入力して変換してください。

何度か練習して、最高点を教えてください。

以下が規定値(デフォルト)で入っている問題文です。

漢字にすべきところが「かな」のままになっているところがあるので注意してください。

「1分間」の「1」は全角数字です。他の「10 年」「150 から 200 文字」「100 文字」は半角数字です。

パソコン要約筆記が始まったのは、10 年くらい前です。

その当時は、入力の速さが注目され、全文入力为目标に頑張りました。

利用者も、全文入力してほしいと言っていたのです。

入力者は、利用者の期待をヒシヒシと感じていました。

少しゆっくり話してもらえば、全文入力できます。

それで、パソコン要約筆記は、全文入力できると思ったわけです。

初期のころは、入力の速い人ばかりで、1分間に 150 から 200 文字くらい打てました。

しばらくして、多くの人がパソコン要約筆記をするようになりました。

その人たちは、入力速度が毎分 100 文字くらいでしたが、全文入力をしました。

当然、話にはついていけません。

それでは、話の内容が抜けてしまいます。

そこで、パソコン要約筆記はダメだと言われ始めました。

入力者は、利用者からそう言われて驚きました。

そして、入力速度の不足が原因だと思ったのです。

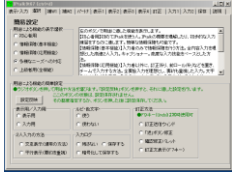
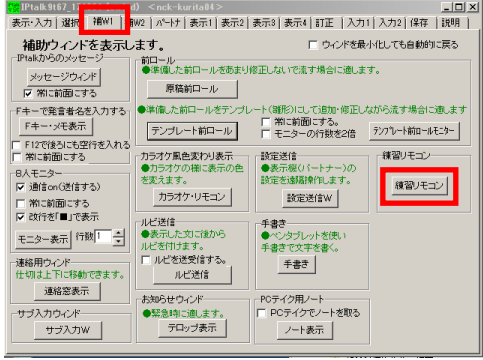
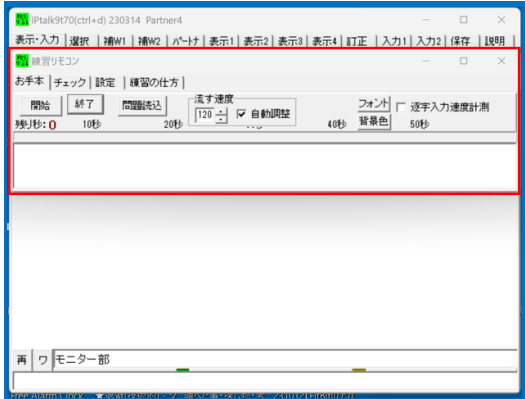

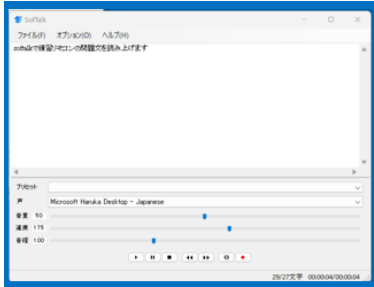
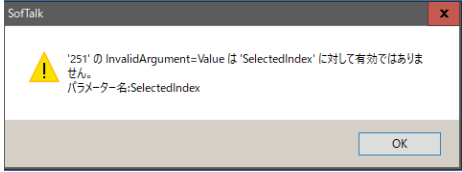
ところが、入力の速い人でも、全文入力していませんでした。

つまり、入力文は要約されていたのです。

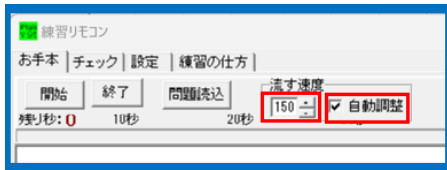
おわり

【注意】

「Softalk」のフォルダーが、起動する IPtalk のフォルダーに入っている必要があります。

No	操作	反応
1	<p>① IPtalk を起動します。 (起動時設定を読み込んで起動した場合は、「保存」ページの「初期値に戻す」ボタンを押してください。)</p> <p>② 「選択」ページの「用途による機能の表示選択」で「上級者用」のラジオボタンを入れます。</p>	<p>② ページが増えます。</p> 
2	<p>① 「補 Wi」ページの「練習リモコン」ボタンを押します。</p> 	<p>① 「練習リモコン」が開きます。</p> 
3	<p>① 「練習リモコン」の「設定」ページを開きます。</p> <p>② 「問題文を読み上げる」枠の「SoFTalk で読み上げる」チェックを入れます。</p> 	<p>② 「SoFTalk」が起動して「SoFTalk で練習文を読み上げます」と音声が出ます</p>  <p>【ヒント】 「このアプリケーションはインターネットに接続しようとしています。」と出た場合は、「許可」してください。</p> <p>【ヒント】 この時、エラーのウィンドウが出るがありますが、「OK」ボタンを押すと、正常に読み上げます。</p> 

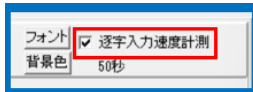
- 4 流す速度を、目標とする入力速度に設定します。
- ① 「お手本」ページの「流す速度」枠の数字を、目標とする入力速度(文字/分)に設定し、「自動調整」チェックを入れます。



【ヒント】

「自動調整」チェックを入れておくと、入力に余裕がある時は速度を速くし、間に合わない時は速度を遅くします。

- ② 「逐次入力速度計測」チェックを入れます。



- 5 計測します。
- ① 「練習リモコン」の「お手本」ページの「開始」ボタンを押します。



- ① 特に反応はありません。

- ② 「IPtalk からのメッセージ」ウインドウに以下が示されます。

表示されたお手本を逐字入力した時の速度を計測します。

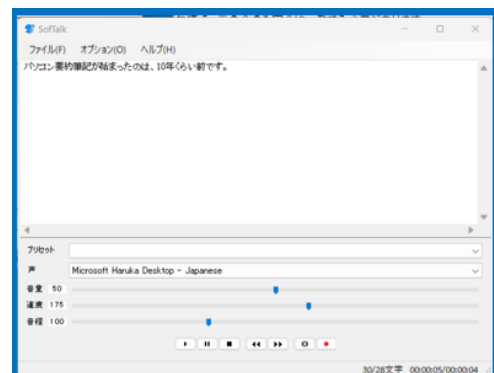
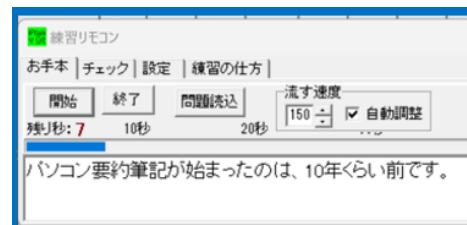
入力部の文とお手本が完全に一致すると次のお手本が表示されます。

句読点、半角全角も完全に一致する必要があります。

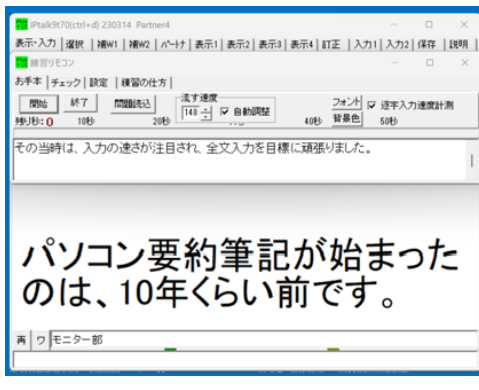
1 分以内に一致しないと、次のお手本を表示しません。

間違えて表示に流した場合は、F9 で取り戻してください。

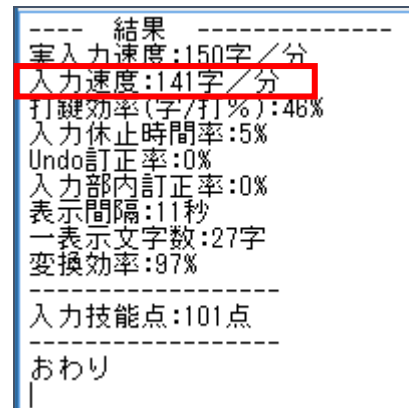
- ① カーソルが自動的に入力部に移動します。「パソコン要約筆記が始まったのは、10 年くらい前です。」と出て、SoftTalk が読み上げます。



②「お手本」通りに入力します。



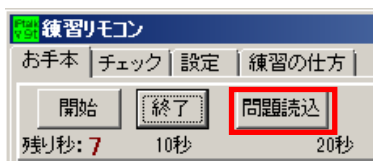
② 終わると結果がでます。



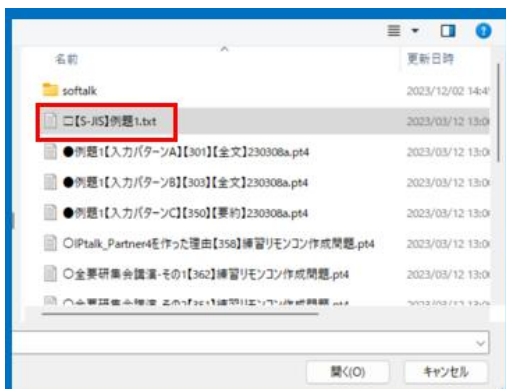
6 【ヒント】

メモ帳で作った練習問題を読み込むことができます。

① 「お手本」ページの「問題読み込み」ボタンを押します。



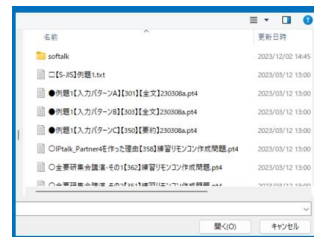
② テキストファイルを指定します。



③「開始」ボタンを押すと、練習問題がスタートします。

①「開く」ウィンドウが現れるので、読み込むファイルを指定します。

メモ帳で作ったテキストファイルを読むことができます。



② 特に反応はありません。

【注意】

拡張子が「PT4」は、IPtalk-Partner のファイルです。

8 おわり